



## 神戸スイーツ・コンソーシアム修了式と成果発表会

### 日清製粉らが協力

が行われた11写真。

プロップ・ステーションの竹中理事長は「障害があってもその人のできることを引き出していくのが本場の福祉ではないかと思う。KSCには修了式と成果発表会

7日、兵庫 県神戸市の「パティシエを目指す障害者プロジェクト」で、神戸スイーツ・コンソーシアム(以下KSC)一チャレンジド・プロگرامv o. 1」の修了式と成果発表会が行わ

### パティシエを目指す 障害者を支援

### 障害者を支援

者を支援するプロジェクトで、モロソフの八木淳司マイスターやフーランジェリー・コム・シノワの西川功晃シェフを講師に招き、6月28日から合計4回の講習会を開催、製粉や日東商會が協力支援した。第1回目となる今回は8人の受講生が修了証書を受け取り、プログラムで学んだ成果を公表、会場では受講生が作ったお菓子の試食など、

製粉や日東商會が協力支援した。第1回目となる今回は8人の受講生が修了証書を受け取り、プログラムで学んだ成果を公表、会場では受講生が作ったお菓子の試食など、

(障害者に対する新しい呼称)の皆さんが活躍していきようになりたい」とあいさつした。

日清製粉営業本部花房宏昌副本部長は「受講生は1人も欠けることなく、1日も休まず熱心に受講された。夢を実現するために努力することの大切さが分かった。今後に生かしていつてほしい。KSCは来年、東京で開催される。1人でも多くのチャレンジドがプロとして働けるようになつてほしい」とあいさつした。